

Contents 新型コロナに負けない！これからの水業界

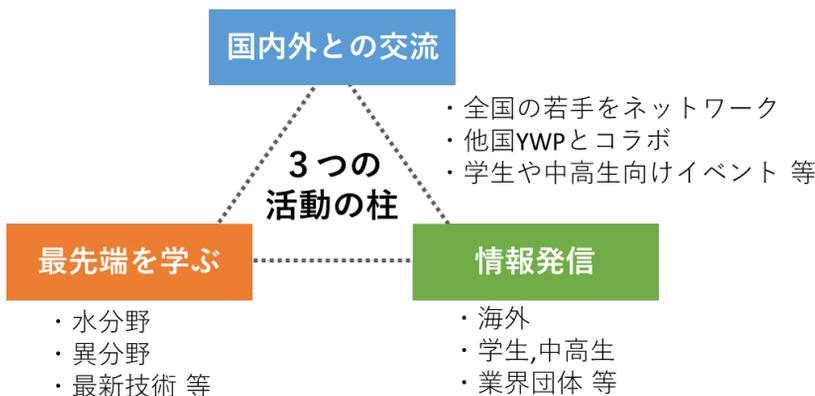
P.1-2	昨年度の活動振り返りと今年度の活動方針 👤 Japan-YWP代表 栗田宗大
P.2-4	2020年度開催のウェビナー企画報告
P.2	水業界のいろは
P.3	下水から何がわかるのか
P.3	下水道に眠る「宝の山」
P.4	みんなのDr life -博士課程進学は人生のハードモード選択なのか？-
P.4	お仕事セミナー
P.5	国際関連の活動報告
P.6	【イベント告知】Japan-YWP第9回国際シンポジウムのお知らせ
P.7	Japan-YWP入会方法とお問い合わせ

昨年度の活動振り返りと今年度の活動方針

第6期（2020-2021）Japan-YWP代表の栗田です。Japan-YWPは多くの皆様のご支援とご協力のもと2020年度に設立10周年を迎えることができ、会員数も500名を超えるまでにになりました。第6期においても設立時からの活動目的である「上下水道・水環境に関連する分野の学術的研究・知識の普及・水環境保全への貢献」を踏襲しつつ、若手同士の交流や情報発信を促進するプラットフォームとしての役割を果たしていきたいと考えています。

さて、第6期の活動がスタートした2020年4月は、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言が全国で発令され、対面での活動が大きく制限されている状況でした。そのため、2020年度はウェビナーやYouTubeチャンネルを活用した情報発信など、オンラインを中心に活動いたしました。ウェビナーは従来の対面式イベントと異なり、参加者同士の交流が生まれにくいという欠点があるものの、これまでは距離的な問題で参加できなかった地域や国外の方も参加しやすくなったことはプラスに感じています。今後の活動でもオンラインの強みを取り入れつつ、新たな形式でのイベントや交流の場を提供できるよう、挑戦を続けたいと思います。

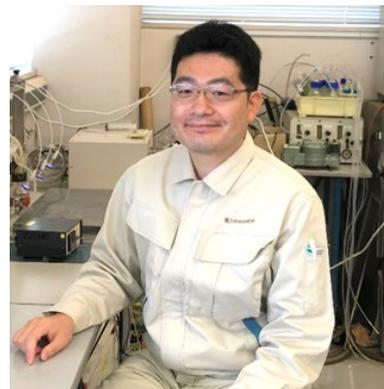
2021年度につきましては、アフターコロナを見据えてJapan-YWPの活動をより活発化させるため、左図に示した3つの項目（→2ページ目に続く）



【2020-21年度におけるJapan-YWPの活動の柱】

昨年度の活動振り返りと今年度の活動方針(続き)

(「国内外との交流」・「情報発信」・「最先端を学ぶ」)を活動の柱として、運営に取り組みたいと考えています。国内外との交流ではIWA-YWPからのニュースレターやイベント情報などを適宜共有し、国外の若手ともネットワークを繋げられるようにしたいと考えています。情報発信では学生に向けて水業界の魅力を紹介するセミナーを企画するとともに、Japan-YWP主催のウェビナーをいつでも視聴できるように公式YouTubeチャンネルから録画を配信しています。また、水分野だけでなく異分野の最先端技術についても学ぶ機会が得られるよう、準備を進めていきたいと考えています。ぜひ、興味のあるイベントがございましたら、お気軽にご参加ください。



コロナ禍であってもJapan-YWPが国内外の若手の交流や情報発信のプラットフォームとして機能できるよう努めていきたいと思えます。また、会員の皆様もJapan-YWPメンバーリストは自由に使用できますので、共有したい情報などがございましたら遠慮せずにご利用ください。最後になりますが、Japan-YWPの活動に関してご意見やご提案などございましたら、お気兼ねなく私たちまでご連絡ください。どうぞよろしくお願いたします。

(Japan-YWP代表 栗田)

2020年度開催のウェビナー企画報告

水業界のいろは

開催日時: 2020年9月12日(土) 14:00~15:00

配信方法: ZOOM(運営委員MC) +

YouTube live(視聴者)

本イベントは、「水業界についての面白さ、驚き、それぞれの考える未来について」をコンセプトに、水業界で活躍する若手(Japan-YWP運営委員)によるディスカッション配信<水って、未来ありますか?>と、チャット欄に書き込みされた質問・疑問にリアルタイムで回答していく「フリートークセッション」の2部構成で、参加者に若手目線の「水業界のいろは」を伝えました。Japan-YWP運営委員の雪岡・蝶名林をMCとしたディスカッション配信



【第1部 ディスカッションパートの様子】

パートでは、官民間問わず水業界に係る若手研究者・技術者が考える水の未来について紹介しました。水業界は、上下水道から始まり、河川・海洋や水環境といった幅広い分野であるため、各々の考える未来への可能性もスケールの大きなものであったのが見どころであったと感じています。また、第2部のフリートークセッションでは前パートのMC 2名に加えて、Japan-YWP 代表の栗田・副代表の高田の4名で参加者からの質問にリアルタイムで回答していくフリートークセッションを行い、水の未来についての考えを共有しました。

Japan-YWPとして初めての完全オンラインイベントということもあり、準備段階から多くの時間を有しましたが、Japan-YWP運営委員の協力のおかげで当日は問題なく開催することが出来ました。今回のイベントのアーカイブは、以下のアドレスにて公開されていますので、お時間がございましたら、御覧いただければ幸いです。(Japan-YWP運営委員 蝶名林)

第1部 ディスカッションパート<水って、未来ありますか?>

https://www.youtube.com/watch?v=6HufP_tKVDQ

第2部 フリートークセッション

<https://www.youtube.com/watch?v=pA2AdSkALHQ&t=203s>

2020年度開催のウェビナー企画報告(続き)

下水から何がわかるのか

開催日時: 2020年9月19日(土)20:00~21:40

配信方法: ZOOM(パネリストと運営委員) + Slidoを用いた質疑

2020年9月にウェビナー「下水から何がわかるのか」を開催いたしました。下水道は公衆衛生を守る重要なインフラですが、私たちにとってあまりにも「当たり前」で「見えない」存在です。そんな縁の下下水道ですが、下水中から新型コロナウイルスを検出したというニュースが報道され、下水中から得られる「情報」に対して一般市民もその重要性を感じ始めたのではないのでしょうか。では、下水中の「情報」にはどんなものがあり、その「情報」が社会に対してどのように貢献するのか?このような疑問を出発点にして、ウェビナーでは下水中からターゲットの「情報」を分析する難しさや麻薬・新型コロナウイルス・微生物の検出に関する最新の知見を第一線で活躍する3名の研究者からご講演いただきました。最初にアメリカボストンから Biobot Analyticsの遠藤礼子プロダクトマネージャーより「下水衛生の基本的な考えや地方政府のアダプテーション」についてご講演いただき、続いて北海道大学の北島正章助教(現准教授)より「新型コロナウイルスの下水疫学に関する最新知見」を、最後に北海道大学の佐藤久教授より「下水中の微生物分析はどこまで簡素化できるか?」と題してご講演いただきました。当日の参加者は60名と、多くの学生や水業界の若手職員の方々に参加いただきました。各講演後の質疑応答では時間内に答えられないほどたくさんの方の興味深い質問をいただき、活発な議論がされました。

(Japan-YWP運営委員 山梨)

下水道に眠る「宝の山」

開催日時: 2020年11月28日(土) 13:30~15:00

配信方法: ZOOM(パネリストと運営委員)

+ YouTube live(視聴者)

本ウェビナーでは、東京大学・加藤裕之特任准教授と山形大学・渡部徹教授をお招きし、BISTRO下水道の取組や魅力についてご講演いただきました。

BISTRO下水道の生みの親である加藤特任准教授からは佐賀市での事例をご紹介頂きつつ、BISTRO下水道の魅力と普及方法について語って頂きました。BISTRO下水道の魅力は住民・消費者→下水道→農家→八百屋・レストランの順でバトンを回すことであり、バトンを繋ぐプレイヤーの存在がBISTRO下水道の普及には不可欠であるという話が印象的でした。また、将来構想を可視化することで共感者を募集する、科学的根拠をもって農家や市民の信頼を得るなど、「種まき理論」を織り交ぜつつBISTRO下水道を普及させるための重要なポイントについてご講演いただきました。

渡部教授には山形県鶴岡市での取組をご紹介頂き、下水道資源の有効活用による食・資源・経済の地域循環についてご講演いただきました。下水処理水を用いた高タンパク飼料用米の栽培では、温室効果ガス排出量の削減や家畜飼料としての有用性に加えて、SDGs達成への貢献についてご紹介いただきました。また、渡部教授は国内外の学術誌でBISTRO下水道に関する研究成果を発表しており、BISTRO下水道を一緒に盛り上げよう!と、若手研究者への熱いエールを頂きました。両講演に対して多くの質問を頂き、活発な議論を交わすことができました。下水道資源が多くの可能性を秘めており、まさに宝の山であることを改めて認識することができました。(Japan-YWP運営委員 野村)

Japan-YWP Webinar

水業界に関心のある学生・水業界の若手向け

下水道に眠る「宝の山」

BISTRO(ピストロ)下水道の取組みより、下水道資源の農業利用が全国各地で活発に行われています。自治体や農家などが一体となり、地域での普及に成功した事例をご紹介いただくとともに、普及方法や農業利用の魅力について語っていただきます。

講演者

東京大学 下水道システムイノベーション講座 特任准教授

加藤 裕之 氏

「BISTRO下水道の魅力とテカラ」

山形大学 農学部食料生命環境学科 教授

渡部 徹 氏

「産官学のONE TEAMで取り組むBISTRO下水道研究

—地方大学こそBISTRO下水道をけん引しよう—



Japan-YWPウェビナー【下水道に眠る「宝の山」】

228 Views · Streamed live on Nov 28, 2020

Like Comment Share Save

2020年度開催のウェビナー企画報告(続き)

みんなのDr life

-博士課程進学は人生のハードモード選択なのか？-



Japan National Young Water Professionals

開催日時: 2021年2月13日(土) 14:00~15:30

配信方法: ZOOM(博士号運営委員) + YouTube live(視聴者)

本ウェビナーでは学生向けのイベントとして、博士課程進学に焦点を当ててYouTube live型のウェビナーを実施いたしました。パネリストとして4名の水関連の博士号取得者に参加していただき、学生時代から現在に至るまでの経歴や思い出等について様々なトークテーマを展開いたしました。特に、栗田Japan-YWP代表のきれいに膜処理した下水を飲んでその味を確かめる話はとても反響がありました笑。

ドクター生活のリアルを語るということテーマに置いたので、博士課程時代の困難や悩み等についてもお話いただきましたが、博士課程まで進学することの意味や研究の中で感じたやりがいや達成感についても語っていただき、博士課程進学を検討する学生や在学中の学生に励みになる内容となりました。(Japan-YWP運営委員 服部)

研究大好き、博士課程行きたい!!
3年間の自由を味わいたい(-_-)/国際学会向けの楽しい(笑)/研究職ってなんかかっこよさそう

Doctor life is really hard...
3 years of freedom, small research materials, research room privileges (stipend), writing papers, etc. It's a really hard life. Japanese researchers are also struggling with their life design.

Japan YWP ウェビナー

みんなのDr life

-博士課程進学は人生のハードモード選択なのか？-

D進学興味あるけど悩むなあ

日時: 2月13日(土) 14:00~15:30
方法: YouTubeによるライブ配信
内容: パネリストによる質疑を交えたクロストーク(視聴者からの質問も答えます)



Japan-YWPウェビナー 「みんなのDr life -博士課程進学は人生のハードモード選択なのか？」

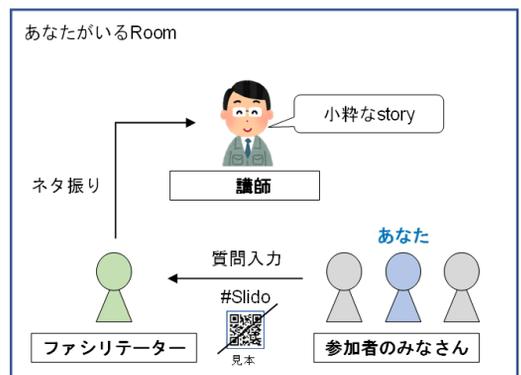
お仕事セミナー

開催日時: 2021年2月27日(土) 13:00~15:00

配信方法: ZOOM(運営委員 + 水業界に関心のある学生) + Slidoによる質疑

1人でも多くの学生に水業界への興味を持ってもらうため、学生と水業界で働く社会人が交流できるイベントとして、本セミナーを開催しました。当日は24名の学生にご参加いただきました。また、web開催ということもあり、全国各地の学生さんが参加されていました。

セミナーでは学生と社会人が直接話せるグループトークの時間を長く設けましたが、学生同士は初対面で質問しにくいのではと考え、匿名で質問を記入できるアプリ (Slido) を併用しました。その甲斐あってか、グループトークでは、質問が途切れることなく、約90分という時間があっという間に過ぎました。終了後のアンケートを見ると、アプリを使用したグループトーク方法は好評だったので、今後も他のイベントでも活用したいと思います。また、アンケートでは他にも、本音や実体験が直接聞けてよかった、学識経験者や事業体職員の貴重な話が聞けた、といった声が多く、おおむね満足してもらえたようでした。学生さんの満足度も高かったことから、進行方法や配信方法の最適化を図りつつ、今後も継続的に開催できればと思っています。(Japan-YWP運営委員 横井)



【図：グループトークの方法】

新体制となった2020年度ですが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、国内外を問わず活動の見通しが不透明となりました。2020年度に開催予定であったIWA World Water Congress and Exhibitionをはじめとする、多くのイベントが中止または延期となりました。イベントが無くなったことにより物理的に会って交流する機会は失われましたが、怪我の功名といいますか、世界中でオンラインコミュニケーションツールが急速に発展及び普及したことにより、特に海外とのやり取りはコロナ感染症発生前に比べ大幅に増え、容易にできるようになりました。そんな中、2020年度はJapan-YWP運営委員のうち2名が国際関連のウェビナー企画に携わりましたので、ご紹介いたします。

「The future of WASH」と題し、2021年2月17日に世界各地の若手68名が参加し、水と衛生の未来についてディスカッションをしました。パネルとしてカナダ/アフガニスタン、ケニア、ブラジル、ガーナのYWPから4名が参加し、彼らのバックグラウンドと現在の課題、解決策の発見、開発に寄与することを目的として議論を行いました。議論の中では、WASH (Water, Sanitation and Hygiene) へのアクセスは人権であり女性や子供のニーズを加味したサービスが必要であること、公共サービスによって保障されるべきであること、ガバナンスがあらゆる場面で必要であることなどが話され、将来のWASH問題を解決するために今行動を起こす責任があるということが主張されました。

今回のwebinarは、IWA YWP（国際水協会の若手会）のwebinarプラットフォームである“Get-Together”として企画し、各国からスタッフを募り開催しました。2021年度も、国際的な活動を積極的に実施したいと考えていますので、ご注目ください。

(Japan-YWP副代表 長尾)

REFLECTIONS FROM 2020 – LESSONS LEARNT- YWP JAPAN



- Held 6 online events in FY2020. Participants from outside Tokyo increased compared to before COVID 19.
- Created a YouTube Channel and uploaded the contents of the events.
- As a result, the registered members of Japan YWP community increased from 474 to 503 from Jan 2020 to Jan 2021. However, it was difficult to make relationships compared to before COVID 19.

Before COVID 19

• We could communicate in person and easily make new relationships through events and so on.

• It was difficult for people from outside Tokyo to attend events which was mainly held in Tokyo.

➡

With COVID 19

• People from everywhere can attend online events.

• We can share contents of the events in YouTube.

• It was difficult to make new relationships and discuss with others.

➡

After COVID 19

• People from everywhere can attend events in person or online.

• We can make new relationships through events and so on.

• We can share contents of the events in YouTube.

Advantage ▭

Disadvantage ▭

INSPIRING CHANGE

【各国YWPとのミーティングで共有したJapan-YWPの活動について】

【イベント告知】 Japan-YWP 第9回 国際シンポジウムのお知らせ

Japan-YWPでは、WET2021-onlineに併せて第9回国際シンポジウムを開催します。今回は、卒業後に国内の水業界の企業・研究所・大学などで活躍する留学生に自身の体験や就職活動、仕事内容などについてお話をさせていただきます。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

主催： IWA Japan National Young Water Professionals (Japan-YWP)

共催： 公益社団法人 日本水環境学会

日時： 2021年8月10日（火）19:00～20:00

会場： オンライン（Zoom）

言語： 英語

参加登録： googleフォーム

* Japan-YWPホームページ: <http://www.japan-ywp.site> にリンクを掲載予定

参加費： 無料

* WET2021-onlineに参加される方は参加費が別途必要です

* Japan-YWPの会員を対象にWET2021-onlineへの参加費助成があります。

助成を希望される方は、本ページ下部の「Japan-YWP会員のWET2021-onlineへの参加に対する費用助成について」をご確認ください。



【プログラム】 司会 渡利 高大（長岡技術科学大学, Japan-YWP副代表）

19:00-19:10 開会の挨拶 栗田 宗大（電力中央研究所, Japan-YWP 代表）

19:10-19:30 Bing Zheng Soh（東亜建設工業）

19:30-19:50 Mohan Amarasiri（北里大学）

19:50-20:00 閉会の挨拶 渡利 高大（長岡技術科学大学, Japan-YWP副代表）

問合せ先： 渡利 高大（長岡技術科学大学, Japan-YWP副代表）

E-mail: watari@vos.nagaokaut.ac.jp

* WET2021-onlineは翌日（8/11）から開催されますので是非ご参加下さい。

< Japan-YWP会員のWET2021-onlineへの参加に対する費用助成について >

応募資格: Japan-YWP会員で、Japan-YWP 第9回国際シンポジウムに参加し終了後、

アンケートに回答する者

助成内容: WET2021-online会議への参加費

応募方法: 助成を希望する本人が、WET2021-online会議の発表申し込みの手続き後に

下記の提出書類を提出すること

提出書類: 応募者の略歴、WET2021-online会議の発表題目・受付番号・要旨

提出期限: 2021年7月31日

Japan-YWP入会方法と問い合わせ先

Japan-YWPは、随時会員募集中！

会員要件は、大学・研究機関、官公庁、下水道・下水道事業体、民間企業などに所属する水関係の若手・学生（原則35歳以下）とし、専門内容やIWA会員であることの有無は問いません。また、年会費等は不要です。会員登録されますと各イベントの情報をメールで受け取ることができます。入会手続きはメールまたはWebサイトから行えます。

メールから

入会希望の方は

- ①所属
- ②氏名
- ③生年月日
- ④E-mailアドレス
- ⑤専門分野

を明記の上、以下のアドレスまで
お気軽に申し込み下さい。

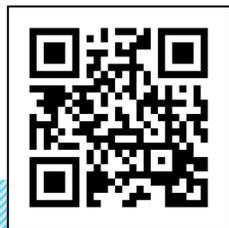
japanywp@gmail.com

Webサイトから (右図参照→)

Japan-YWP Webサイトの入会フォーム
からも入会手続きが可能です。
トップページの「Japan-YWPへの入会は
こちら」より入会フォームへお進みください。



右のQRコードからJapan-YWP Webサイトへ
(<http://www.japan-ywp.site>)



Japan National Young Water Professionals Newsletter Vol. 20

発行：2021年6月25日

発行者：Japan National Young Water Professionals
(代表：栗田 宗大)

ホームページ：<http://www.japan-ywp.site>